

学校評価アンケートの考察

本校は、次の3点を重点目標として4月より取り組んでまいりました。

- ① 基本的な生活習慣を身に付け、規律ある行動ができる子どもを育てる。
- ② 人権尊重を基盤とする教育活動を行い、自己有用感に裏付けられた自尊感情を高める。
- ③ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。

また、めざす児童像を分かりやすいフレーズ「あ・か・た」になぞらえて、次の3つの言葉をキャッチフレーズとして取り組みました。

あ： あかるい子	・・・豊かな心（徳）
か： かんがえる子	・・・学力向上（知）
た： たくましい子	・・・健康・安全（体）

以上の取り組みをふまえ、学校評価アンケートの結果を大きく次の3つにまとめて考察いたします。

学校生活への適応に関すること

- 【1_学校が楽しい（肯定的回答：児童 95%，保護者 93%）】
- 【11_友達を大切にしている（肯定的回答：児童 94%，保護者 92%）】
- 【17_先生は自分の良いところやがんばったことを認めてくれる（肯定的回答：児童 91%，保護者 92%）】

項目1の「学校が楽しい」に対し、児童の95%（R4:93%）、保護者の93%（R4:92%）が肯定的な回答となりました。児童の否定的な回答者を実数でみると昨年度の13人から5人へ減少しました。しかし、まだ5%の児童が否定的な回答であったことについては大きな課題です。今後もその背景を教職員が丁寧に看取り、把握して指導に努めてまいります。

項目11「友達を大切にしている」の肯定的な回答は、児童が94%（R4:95%）、保護者が92%（R4:97%）でした。このことから児童の自己肯定感が高く、仲間意識をもって生活している様子がうかがえます。トラブルがあったときには教職員がチームとしてすばやく対応し、児童の気持ちを聞き取っていることが結果に繋がっていると考えます。しかし同時に、自分が友達を大切にしていない、仲間とうまくいっていないと感じている児童も6%（R4:4%）ありましたので、これからも小さな事を見逃さず、自分を取り巻く周りの人の気持ちに目を向けさせ、仲間の大切さ伝えていく指導を継続していきます。

項目17の「先生は自分の良いところやがんばったことを認めてくれる。」に対して肯定的に回答した割合は、昨年と同程度で91%（R4:91%）でした。今後もポジティブな行動支援を心がけて、児童を認め、児童と教職員の信頼関係の上に教育活動ができるよう努めてまいります。

学校生活の適応に関する項目ではいずれのアンケートでも同じような値を示していました。学校生活が楽しいかどうかは、対友人との関係、対教員との関係や授業への興味関心等、さまざまな要素があります。今回「学校が楽しい」という質問に対して否定的な回答もあったことから、今後も、教職員で児童理解についての情報共有を図り、多面的に児童を把握することで、一人ひとりが認められ、安心して学べる学校をつくってまいります。

学習活動に関すること

- 【3_先生や人の話をちゃんと聞いている。（肯定的回答：児童 91%，保護者 84%）】
- 【4_授業はよくわかる。（勉強したことが理解できた。）（肯定的回答：児童 89%，保護者 86%）】
- 【12_授業中、しっかり考え、進んで発表することができている（肯定的回答：児童 73%，保護者 74%）】
- 【13_授業で分からないことを先生に質問することができる（肯定的回答：児童 71%，保護者 83%）】

項目3「先生や人の話をちゃんと聞いている」では、肯定的回答をした児童が91%（R4:87%）でした。保護者の回答では84%（R4:80%）でした。しかし教職員の回答では「よくあてはまる」と回答した教職員は11%、「ややあてはまる」と回答した教職員は37%、「ややあてはまらない」と回答した教職員は37%、「あて

はまらない」と回答した教職員は16%でした。教職員の中では意識の差が感じられました。この違いについては、「聞いている」を児童側は音声が届いていると受け取っているのに対し、教職員側は内容を取捨選択し思考しながら聞き取っている状況を求めている差であると考えます。聞く事は思考することの大切なきっかけです。話を聞く授業態度等、これからも日々声をかけ、指導を継続してまいります。

項目4「授業はよくわかる」については、児童の89%(R4:91%)が肯定的な回答をしています。しかし項目3と同様、保護者、教職員から回答とは差が見られます。児童は自己内評価ですが、特に教職員は知識の理解度を考えた相対的な見方が優位になります。児童が自分は頑張っているという気持ちを大切にしながら、個別にあった指導方法を数多く取り入れ、「わかる授業」の実戦に向けて研修に取り組んでいきます。

項目12・13では、主体的な学習の姿を評価しています。項目12では教職員の肯定的回答85%に対して、児童の肯定的回答は73%でした。限られた時間の中では全員が発表することはできませんが、教員が思うより多くの児童が進んで発言しないといけない、もっと発表したいと考えているとも受け取れます。今後、授業の中でICTを効果的に活用し子どもたちの意見を広いあげ、主体的・対話的な学びができるよう意見交換の場面を増やし、学習活動できるよう留意してまいります。

基本的な生活習慣・規範意識の育成に関すること

【5_あいさつをしている（肯定的回答：児童 89%，保護者 82%）】

【6_自分の役割を果たす（肯定的回答：児童 92%，保護者 73%）】

【7_時間を守っている（肯定的回答：児童 91%，保護者 65%）】

【8_交通ルールを守る（肯定的回答：児童 98%，保護者 94%）】

【10_規則正しい生活（肯定的回答：児童 84%，保護者 85%）】

項目5のあいさつについての肯定的回答は、児童は89%(R4:86%)でした。挨拶をすれば返してくれる児童が多いのですが、自分から先に挨拶ができる児童とそうでない児童の個人差があるように感じます。今後も気持ちのこもったあいさつができる子どもが増えるよう指導を継続してまいります。

また「自分の役割を果たす」(92%)「時間を守っている」(91%)「規則正しい生活」(84%)の項目では、9割程度、肯定的回答がありました。「時間を守って行動する」の項目が2%増加したのに対し、「規則正しい生活」の項目が3%減少しました。これは、学校ではチャイムや時間を守っている一方、家庭での起床・就寝時刻などにばらつきがあり、「規則正しい生活」ができてないと感じている児童がいるからだと考えます。また、「交通ルールを守る」の項目では肯定的回答がほぼ同程度でした。児童の登下校の様子については、並列して話をしながら車道にはみ出すなどの場面があり、繰り返し指導しています。また狭い生活道路も多い中、自動車の往来は多く、児童には危機意識をしっかりと持たせていきたいと考えています。今後も、地域の方の協力も得ながら、交通事故の防止に取り組んでまいります。

基本的な生活習慣や規範意識の育成には、家庭や地域の教育力が欠かせません。学校で知識として学ぶだけでなく、ご家庭や地域の皆様のご協力をお願いしながら、今後も子どもの健やかな成長の礎となる、基本的な生活習慣の定着や規範意識の醸成に努めます。

家庭・地域との連携に関すること

【19_家庭・地域と連携し、様々な行事や取り組みを行っている（肯定的回答：児童 96%, 保護者 90%）】

【20_学校は保護者からの連絡や相談に適切に応じている（肯定的回答：保護者 97%）】

【21_学校は学校便り、学校HP等で積極的に情報発信・提供している（肯定的回答：保護者 91%）】

項目19の「家庭・地域と連携し、様々な行事や取り組みを行っている」に対し、児童の96%、保護者の90%が肯定的な回答となりました。昨年度までのコロナ禍とは異なり今年度からは様々な学校行事や取り組みが再開されました。コロナ禍で期間が空いてしまったため、行事等の準備に不安を感じながらの開催となりましたが、積極的に協力してくださる保護者の方々や地域の方々のご協力のお陰で今日まで進めることができ、残すところ卒業式だけとなりました。今年度の経験と反省を生かして、来年度に向けて準備を進めていきたいと考えています。

項目20「学校は保護者からの連絡や相談に適切に応じてくれていますか。」に対して保護者の肯定的な回答は97%、否定的な回答は3%でした。それに対して、「保護者からの連絡や相談に真摯に応え、適切に処理している。」に対する教職員による自己評価は、肯定的な評価が94%、否定的な評価が6%がでした。このことから教職員による自己評価よりも、保護者からの評価の方が高いことが分かりました。本校は決して楽な勤務形態ではありません。様々な保護者対応や、生徒指導に追われる日々です。特に支援学級在籍児童数の割合は高く、様々な特性を持っています。そのような中でも、本校の職員は日々子どもの特性の把握に努め、子ども一人一人の幸せのために教職員が一丸となって真摯に対応をしている姿勢が今回の結果に繋がっていると考えます。今後も家庭と力を合わせながら、子どもの更なる成長につなげていきたいと思えます。

項目21の「学校は学年だよりや学校だより、また学校HP(ホームページ)などで、積極的に情報を発信・提供していますか。」に対して肯定的に回答した保護者の割合は91%でした。土成小学校のホームページは今年度開始以降、3日に1度のペースで更新を行っています。連絡等のメール送信回数は現時点で100件を越えます。各学年の取り組みや学校行事、各種案内等についてのご案内やホームページの更新が今回の結果につながっていると考えています。今後も保護者の方々はもちろん、地域の方々に対しても積極的に情報発信・提供に努めてまいります。